



チーム プリッツ



チームメンバー
荒木静遥
辻知花

2040年のビジョン

～どんな甲賀市にしたいのか～



行こうか・住もうか・呼ぼうか

甲賀市

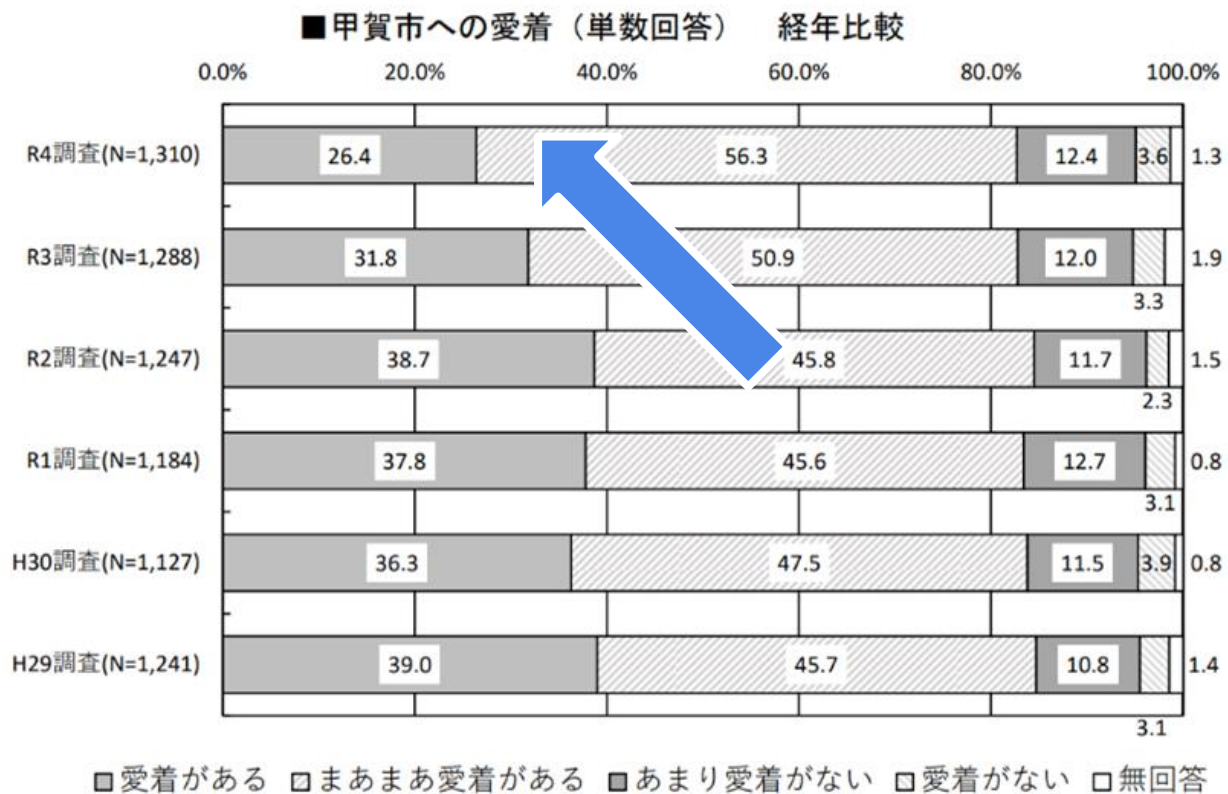


甲賀市の課題のひとつ

- ・ 京都、大阪への転出の多さ
- ・ 愛着心の減少傾向

ビジョンの策定背景・理由

意識調査結果より



甲賀市への愛着は 年々減少傾向

5年間で12.6ポイントの減少

ビジョンの策定背景・理由

～どうしてそのビジョンにしたのか～



その他にも…

- 甲賀市への定住意向**4.5 p** 減少（5年間）
- 「市の魅力を市外の人に自慢できる」
4.7 p 減少（5年間）
- 住みやすさ 前年比**4.1 p** 減少

ビジョンの策定背景・理由

～どうしてそのビジョンにしたのか～



”愛着心”を軸に甲賀市を盛り上げて

「行きたくなる、住みたくなる、
呼びたくなる」

そんなまちを目指します！





行きたくなる
甲賀市



住みたくなる
甲賀市

愛着



呼びたくなる
甲賀市





行きたくなる 甲賀市

アートフェスタ甲賀



➤ 芸術と甲賀市の関わり

信楽焼・美術館 等

⇒好きな人が集まっている

➤ 目的

甲賀市内の活動を

甲賀ブランドとして発信

甲賀ブランドによって、
陶芸：より身近なものとする

活動者の発表の機会

甲賀市の魅力発信・経済効果
移住者の獲得競争に正の効果

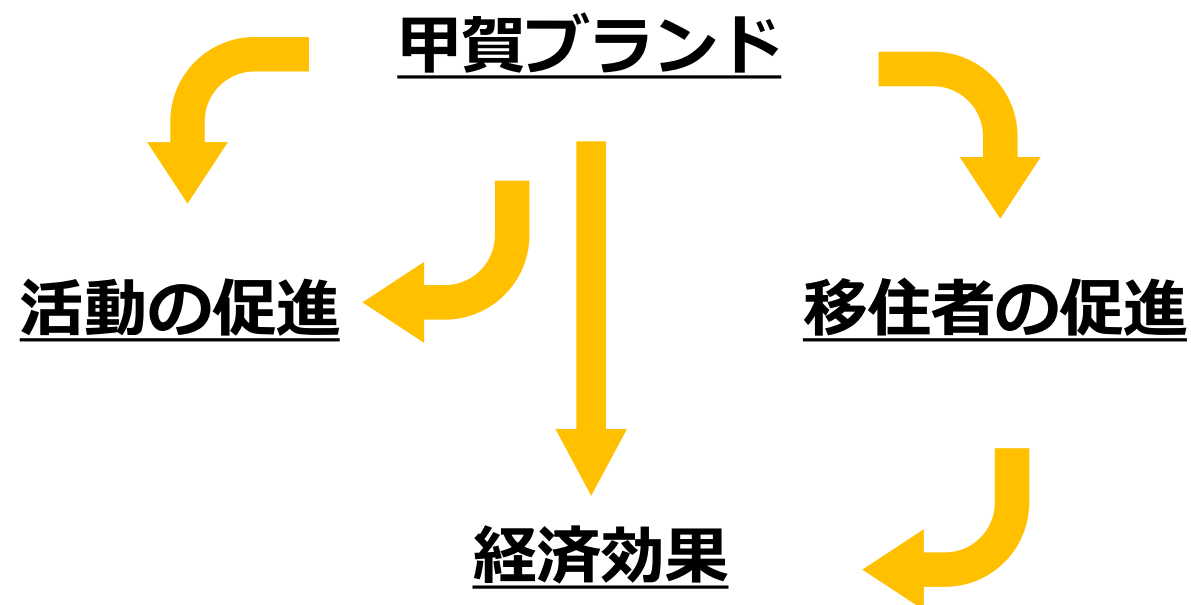
アートフェスタによる効果とは...

文化的活動

- ・陶芸
- ・市民の活動
- ・学校等の部活動

経済効果

- ・イベントへの参加
- ・お土産
- ・体験



アートフェスタ甲賀



➤ 内容

甲賀フェスタ

対象 : 市内活動者

期間 : 年1回 1週間程度

内容 : 甲賀市民の文化祭
作品の展示・販売
体験コーナー・発信

来場者 : 市民・関係者
観光客(京都・大阪・愛知)
想定来場者数 5万人

支出 : 5000万円

収入 : 大人1000円/開催期間

アートフェスタKOKA (仮)

対象 : 世界のアーティスト

期間 : 4年1回 1か月程度(11月頃)

内容 : 甲賀の山や土など自然を生かした
作品の展示

来場者 : 市民・関係者
観光客(国内・海外)
想定来場者数 50万人

支出 : 10億

収入 : 20億(大人4000円/開催期間)

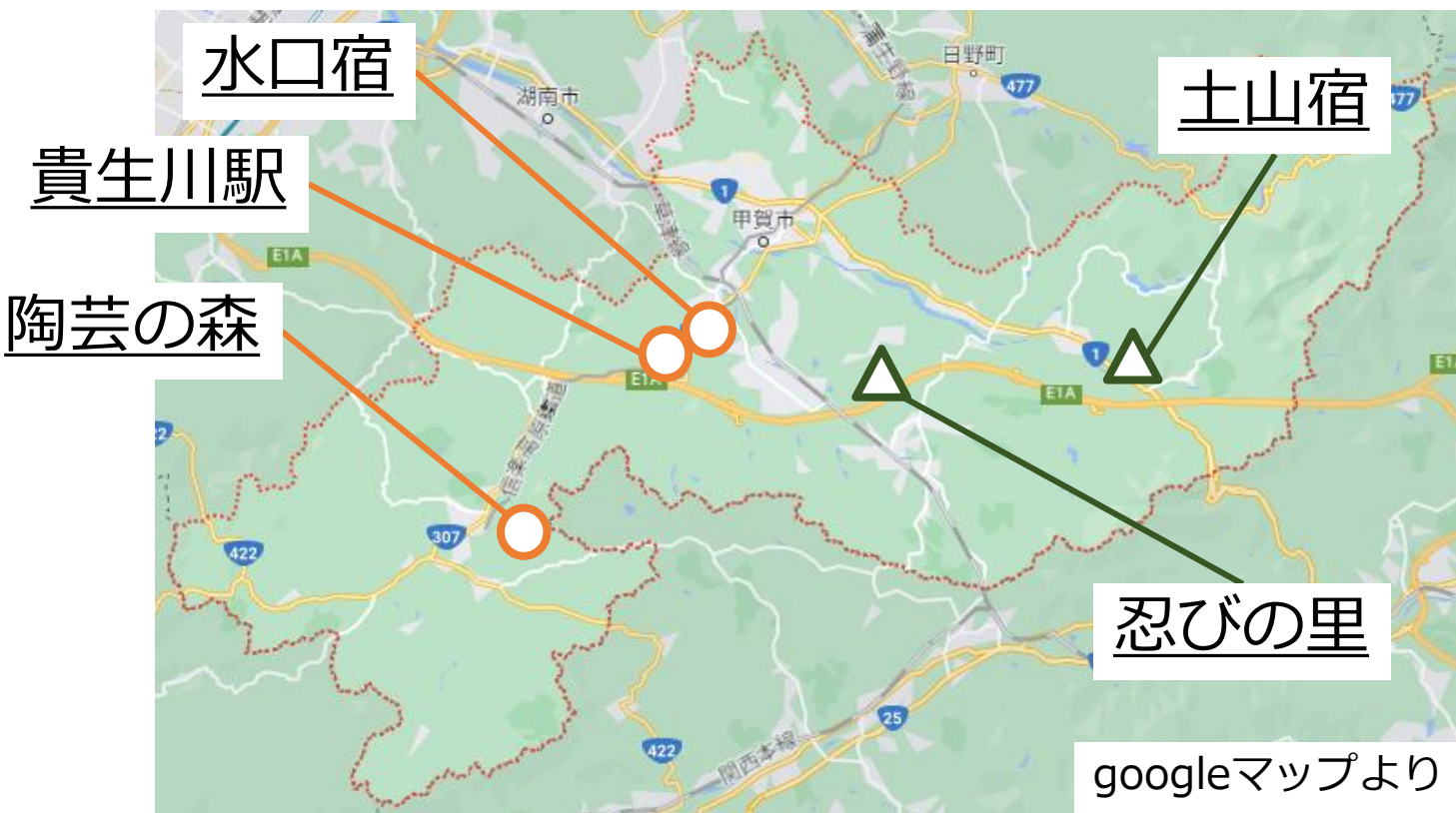
アートフェスタ甲賀



➤ 開催場所

○ 甲賀フェスタ (3か所他)

△ アートフェスタKOKA (5か所他)



観光地周辺
市内広域

期間内チケット

観光機会を増やす

甲賀市全体のブランド力向上
甲賀市をもっと身近なものに！



住みたくなる 甲賀市

地域開発部



➤ 地域と若者の関わり

高大連携・域学連携 等

⇒フィールドワークをしながら提案

小中学校における地域連携型授業

⇒地域の方に話を聞き地元について考える

➤ 目的

小・中・高校生が甲賀市について知り

甲賀ブランドとして認識すること

甲賀ブランドによって、
移住・定住者の獲得競争において
他の自治体と区別を図る

甲賀ブランド とは...

生活環境

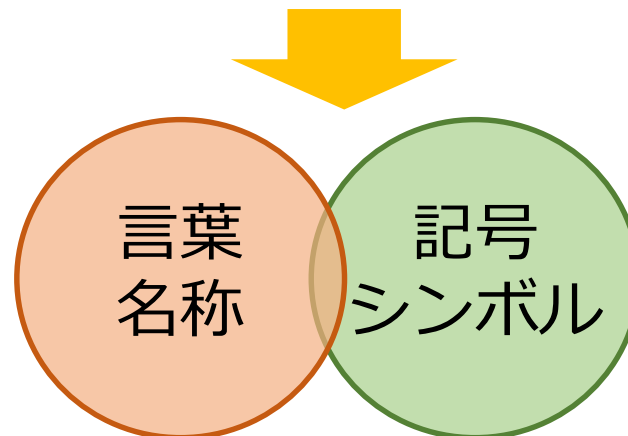
- ・自然の豊かさ
- ・観光資源
- ・学校や教育施設

市民性

- ・職業
- ・国籍
- ・近所との関わり

行政

- ・福祉健康
- ・産業
- ・産業観光



地域開発部



➤ 活動内容

対象 : 小・中・高生

内容 : 甲賀ブランドの体験・考察・発信

成果物 : ガイドブック、フリーペーパー
映像、提案書 等

関わる人 : 大学生（立命館）市の職員

例題 : 「新しい信楽焼の魅力」
「近隣市から行きたくなるまち」
「甲賀市の休日のすごしかた」

等

➤ 関係者の得られるもの

小・中・高生

地域の繋がり・愛着

コミュニケーション能力

プレゼンテーション能力

大学生

フィールドワーク

ファシリテーション能力

甲賀市

甲賀ブランド

甲賀市の魅力発信

地域開発部



➤ 活動スケジュール

4月～5月

大学生募集

ファシリテーターとなる
大学生の募集

＜対象＞

立命館大学

・経済/理工/食マネなど

6月上旬

参加者募集

小中高生の募集
継続参加推奨

＜対象＞

甲賀市内

小学校：1校

中学校：複数校

高校：複数校

7月上旬

グループ分け

参加希望者を
学年・学校の混成
ファシリテーター
参加者の顔合わせ

7月下旬～

グループ活動

ファシリテーター
市職員同伴
フィールドワーク
提案・制作

＜活動場所＞

小学校

8月下旬

発表

市職員
課題対象関係者の前で発表
パワーポイントを用いての発表

(導入時期：2025年～)



行きたくなる
甲賀市



住みたくなる
甲賀市

愛着



呼びたくなる
甲賀市

